

## 地域情報

### 宇城支部技術部会における先進地視察研修の開催

一般社団法人熊本県野菜振興協会宇城支部

宇城地域では、国営緊急農地再編整備事業により大規模な基盤整備が計画されており、整備後の営農計画を策定するため、土地利用計画や導入作物の検討が行われています。そこで、導入が検討されている露地野菜について、大規模なリーフレタス生産が行なわれている久留米での先進地視察研修を開催しました。

また、JA熊本うきの直売所である宇城彩館における野菜類の品揃え等の参考とするため、道の駅くるめの取り組み状況についても視察研修を行いました。

JAくるめでは、225haでリーフレタスが栽培され、新規就農者や後継者も多く、規模拡大が進んでいます。夏期を除く秋～春のレタス単作で、夏季に他品目を取り入れた周年雇用型も増えてきているとのことでした。視察日は最低気温が低かったこともあり、トンネルのビニルを張る作業があちこちで見られました。

道の駅くるめでは、品揃えを道の駅側で指示することはなく、売れ残りは持ち帰りとなることもあって、出荷者側で工夫されている状況でした。販売スペースに限りがあり、出荷希望者100名ほどに待ってもらっている状況だそうです。

宇城と久留米では立地条件や主要品目も異なりますが、露地レタスの作付や直売所での野菜の販売状況など、宇城での取り組みに活かしていきたいと考えています。



リーフレタスほ場とJA流通センター（奥の建物）